

## 基本情報

人口：約750万人（INE 2022）

首都：アスンシオン

言語：スペイン語、グアラニー語

主要産業：農牧業（大豆、牛肉、マテ茶）、グリーンエネルギー

GDP：411億米ドル

一人当たりGDP：5,680米ドル

経済成長率：4.5%

## 国別開発協力方針 重点分野

### (1) 持続的経済開発

- 農牧製品の流通や輸出促進、域内統合、投資誘致に向けたインフラ整備について、生産バリューチェーンへの小農参画、人材育成・能力開発の視点も盛り込んだ支援を行うことで、持続的な経済開発に貢献する。

### (2) 社会開発

- 格差是正及び貧困削減に向け、包摂的な社会開発を推進する。水・衛生、基礎保健・栄養改善、障害者支援及び草の根レベルの基礎教育を主要協力分野とする。

## 特徴的な現地の課題

### 農業・畜産、フードバリューチェーン

- 大豆と牛肉への過度な依存から脱却する農牧製品の多様化、加工、国際市場の更なる開拓等
- 農業生産者の大半（93%）が100ha未満の家族農業型。小農支援（生産技術、組織強化、VCへの参入等）
- 農畜製品の安全性と品質確保に向けた体制強化



### インフラ（道路、電力、給水・下水、通信等）

- インフラは全体的に脆弱。特に、道路網の約84%が未舗装。
- 送電設備が限界に達しているため、安定した電力供給が困難
- 給水システムの老朽化、漏水、都市部の下水網は殆ど未整備。
- インターネット普及率は、都市部では75～80%、農村部は50%程度にとどまる。光ファイバーの普及率は低い。



### 産業

- 民間セクターは、零細・中小企業が97%を占める（大企業は少数、大半が農業・畜産分野関連企業）
- 労働力の質が課題



## 事例①

### 農業・畜産分野でパラグアイに貢献

案件名	スクルー型コンポストプラント及びバイオ飼料による循環型農業支援にかかる案件化調査
企業名	カワシマ社
カウンターパート名	現地ドイツ系農業協同組合 (Cooperativa Colonias Unidas)
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・循環型農業の実現</li> <li>・小規模農家のバリューチェーン参加</li> <li>・持続的経済・社会開発の促進</li> <li>・環境保全への寄与</li> </ul>



## 事例②

### 建設分野における活躍

企業名	萩原工業 Hagihara Industries Yguazu SRL
製品	バルチップ (繊維補強コンクリート)
パラグアイ進出の背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メルコスール域内への輸出</li> <li>・日系社会の存在（日本文化を理解・日本語で業務可）</li> <li>・海外投資の環境整備（工業団地、税制優遇など）</li> <li>・安価でクリーンなエネルギー</li> </ul>



会社概要・事業拠点 | 萩原工業株式会社 (hagihara.co.jp)



製品紹介 | BarChip Inc. (バルチップ株式会社)

## 本件に関する連絡先

■ JICA パラグアイ事務所  
アコスタ ロレーナ  
[lorena-acosta@jica.go.jp](mailto:lorena-acosta@jica.go.jp)